

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
18		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21を取得する			3.9			6	7							12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境保全に関する取り組みを公表している														12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】太陽光パネルの設置する								7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先に対して非合法材の利用がないことを確認している														12.2	13	14	15	
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄に関する社内規定を整備し、社内研修を実施している																	16	16.5
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正な競争、取引の禁止に関する社内研修を実施している																	16	
	24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	現状取り扱いはないが、特許、商標等知的財産権の取得・管理している								8.2 8.3	9									
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社内研修を行い、情報管理ルールを周知徹底している																	16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取扱なし																	16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先に対し、人権侵害の防止、生物多様性、倫理面への対応を踏まえ、取引継続可否の判断を行う。					5		8		10		12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品の安全性を確保するために、ルールブックを策定している。		3.9											12.4					
	29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	不具合発生時の対応が整備されクレーム対応手順の明確化など、品質を保証するための仕組みが構築されている								9										
	30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	製品やサービスの企画、設計時に環境への貢献を考慮している（製品、サービスによるCO2削減、電力消費量削減、プラスチック削減、リサイクルしやすい製品設計など）					6							12	13	14	15			
	31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	製造の過程での廃棄物を減らす取組を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32 社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域行事や団体へ積極的に参加し、対話の機会を設け、自社の事業がその地域に及ぼす影響の把握、改善に努めている					4					9		11	12		14	15		17	
								4									11		14	15		17
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元地域や事業を展開する地域に貢献する活動を実施している(寄付、地域の防災活動、自然保護活動等)					4									11		14	15		17
34	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・地元の原料を積極的に利用している ・お客さまへの贈答品を長野県産物のものとするなど、積極的に利用する										8	9		11	12	13				
35	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化し、社員に共有している										8	9								17
36	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンスの考えを周知するために、朝礼時等で取り上げている																			16
37	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	社長自ら責任者となり、管理している																			16
38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	お客様の声やお客様の意見・要望を尊重し、日々の業務改善に努めている																			16 17
39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	自社を取り巻くリスクをリスクマップにまとめており、適切に対処している																			16
40	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR方針を策定する																			16
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続力強化計画の認定を受ける													9	11	13	13.1		16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者がいる										8	9								17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

#### 【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)